



常世田 正樹 議員



オーガニック給食の導入を

問 県内54市町村のうち給食は無償化を行っている自治体は18市町あり、本市では予算確保が難しいから困難であるというのがこれまでの答弁であった。少子化対策、定住促進においては非常に有意義な施策だと考えるが、市の見解は。

答 無償化により市民の負担が増加しないよう、国・県の財政支援や経済及び財政状況を注視し、慎重に検討していく。

問 給食に用いる食材を有機農産物にしてほしいという声を聞くが、オーガニック給食について取り組む考えはあるか。

答 有機野菜は高価であり、必要量を安定的に確保することが難しいため、オーガニック給食の導入は困難と考える。

個室トイレに生理用品の設置を

問 市内小中学校では保健室にて生理用品を無償提供して

いるが、恥ずかしい等の理由で保健室にもらいに行けない児童はトイレトペーパーで代用している。現在、市内有志の方々の活動により、小学校5校、中学校2校の個室トイレに、活動者本人が購入または寄附された生理用品を設置している。今後は行政が引き継ぎ、気兼ねなく使える生理用品を個室トイレに設置できないか。

答 全ての児童が気軽に保健室に生理用品をもらいに行けるよう、啓発ポスターを掲示して場所や方法に不安があり、補充管理を行う職員の負担にもなる。また、対面式で生理用品を渡す際に困り事の早期発見にもつながるので、今後、県内の動向に注視しながら設置について検討を進める。



干潟小学校に設置されているフリーナプキン

その他の質問事項
○市民サービスの向上に向けて

新設道路の安全対策を

問 旭中央病院アクセス道が旭警察署東側から広域農道まで開通したが、既に交通事故が発生し、危険な交差点があると聞いている。どのような安全対策をしているのか。

答 緊急に旭警察署と安全対策の協議を行い、特に事故が多く発生した2か所の交差点の停止線の前に、注意喚起の路面表示やカラー舗装をした。

問 道路の新設や改良によって交通量が大幅に増え、思いも寄らないようなところで事故が発生することもある。事前に入念な検討をして、きめ細やかな対策を行うことが重要だと思うが、市の見解は。

答 新設道路については、これまでの経過や地域の特性を鑑みて、信号の設置や規制標識などの安全対策について、千葉県警察本部や旭警察署と協議していく。

仁玉アメニティ公園の整備を

問 仁玉アメニティ公園は多くの遊具が使用禁止になっているが、修理や新設などの計画はあるのか。

答 遊具設置後27年が経過し、老朽化が進行していることから、利用状況等を総合的に判断した上で修繕または撤去の判断を行い、適正な管理を進める。

問 子どもは社会の宝であり、外で体を動かすことは心身の健全な育成に欠かせない。しっかりと予算をつけ、子どもたちの遊び場を提供することが必要だと思うが、市長の考えは。

答 定期的な保守点検を継続しながら適正な維持管理を実施し、子どもたちの遊び場と安全の確保に努めていく。



片桐 文夫 議員



使用禁止中の仁玉アメニティ公園の遊具